

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016 年 4 月 5 日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	UC派遣プログラム	派遣先大学:	UC Davis
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業(業界:) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他()			

派遣先大学の概要					
カリフォルニア大学デービス校(英語: University of California, Davis)は、カリフォルニア州デービス市に本部を置くアメリカ合衆国の州立大学である。1905年に設置された。表記はデイヴィス、或いはデーヴィス等も存在するが、本項ではデービスで統一する。パブリック・アイビーの1校であり、世界でも屈指の生物関連の研究設備を誇る名門校である。					
留学した動機					
海外での生活、授業への興味、英語					
留学の時期など					
①留学前の本学での修学状況:	2015 年	学部4	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	休学				
③留学期間等:	2015 年	9 月~		2016 年	3 月
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016 年	学部4	年生の	S1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2016 年	学部4	年生の	4 月頃に	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			89.5	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0 単位	
	留学後の取得(予定)単位			10 単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2012 年	4 月入学		2017 年	3 月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5 年		0 ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
もともと海外への憧れがあった。就職を前にして、その憧れた先での生活がどのようなものなのか知りたかった。英語力不足					
留学の準備					
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)					

特になし					
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
当たり前だが、早い方が良い					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
なし					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
大学指定の保険のみ					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
なし					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
TOEFL91 直前はPodcastなどで耳をならした。単語の暗記は現地でやると時間のロスが大きいので、早めに手をつけた方が良い。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Economics of Education	4		Ancient Greek Philosophy	4	
Industrial Organization	4				
Politics of Interdependence	4				
Visualization Science	4				
Theories of International politics	4				
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					

<p>発言・レポートなど、様々な形での授業への関与を求められる。</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p>
<p>一日あたり、5-8時間くらいは自習していたように思う。</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>専門の性質上か、内容に大きな違いはない。全ては英語の問題</p>
<p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p>
<p>英単語の拡充はなるべく済ませた方がよい</p>
<p>生活について</p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p>
<p>知り合いの紹介。大学から案内が来るため、基本的にそれに従うのが良い</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p>
<p>大学が送付してくれるパンフレットを参照すれば、特に問題はない</p>
<p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)</p>
<p>治安は非常に良い。</p>
<p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p>
<p>・毎月の生活費とその内訳</p>
<p>800ドルくらい</p>
<p>・留学に要した費用総額とその内訳</p>
<p>授業料(\$16000)+家賃(\$400×7)+食費(\$200×7)+交際費(???)</p>
<p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p>

JASSO奨学金(8万円)
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
特になし
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
東大と大きな違いはないが、24時間空いている勉強スペースがある
留学と就職活動について
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
特になし
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
自分を無意識に縛っていた社会からの制約が弱まった
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
特になし
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:) ()4.非営利団体(団体名又は分野:) ()5.民間企業(企業名又は業界:) ()6.起業(分野:) ()7.その他()
留学を振り返って
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
勉強面は把握が難しいが、精神面で様々成長したと思う。
②留学後の予定

就職活動を行う

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

迷っているなら、行った方がいいと思います

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 7月 8日

東京大学での所属学部・研究科等:	文学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	Global Study Program	派遣先大学:	University of California, Davis
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input checked="" type="checkbox"/> 5.民間企業(業界:外資コンサル、外資IT) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他()			

派遣先大学の概要					
<p>カリフォルニア大学デービス校はUCLAやUCBerkeley等と同じくUCシステムに属する大学で、デービスというサンフランシスコから車で1時間半程の街にあります。自然の多く広大なキャンパスで世界中から多くの学生が勉強しに来ています。生命化学、農学系が非常に有名でアメリカでもトップを争うレベルです。世界大学ランキングでは東大と同じくらいなのでレベル的に丁度良い大学だと思います。</p>					
留学した動機					
<p>将来グローバルに仕事を出来る人間になりたいという思いがあり、現時点での自分の実力がアメリカの有名校でどれだけ通用するか試したかったため。またその過程で英語力だけでなく人間的に成長し、オープンで堂々とした人間になりたかったため。</p>					
留学の時期など					
①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	休学				
③留学期間等:	2015年	9月~		2016年	7月
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016年	学部3	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2016年	学部3	年生の	2月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			42	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0 単位	
	留学後の取得(予定)単位			42 単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学		2018年	3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	4年		11ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
<p>留学しようと思ったのが2年生の2月だったため、時期的に最も早く3年生の夏からしかなかった。</p>					

留学の準備					
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)					
GSPではほぼ全て自分でやる事になると思うので、時間に余裕を持って丁寧に進めて下さい。志望動機やエッセイの提出も東大レベルで英語が得意なら問題ないと思います。心配であればネイティブの先生に見てもらって下さい。					
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
学生ビザ(F1ビザ)でしたが、オンライン申請が非常に面倒で、申請に際し集めなければならない資料も沢山あるので特に早めに余裕を持って進めておく事が大切です。					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
行きつけの病院や歯医者には留学前に行っておきましょう。					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
大学で指定された付帯海学に加入しました。					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
休学願いのため、学部長や指導教官に何度かサインを頂きに伺いました。					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
出発前はTOEFL89点TOEIC875点ほどでしたが、映画やドラマを英語字幕で見ても英語に慣れてから留学に行きました。今思うとこれでは不十分で、もっと勉強して行けば良かったと思いました。特に話せて聞けるポキャブラリーを可能な限り増やしておくことで後で英語力の伸びに効きます。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
アメリカで何でも買えるので特にないと思います。					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Elementary Statistics	5		Social Stratification	4	
Statistical Analysis for Social Sciences	4		Third World	4	
An Introductory for R Programming	4		Film Studies	4	
Econometrics	4		Macroeconomics	4	
Social Inequality	4				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)
どの授業でも膨大な量のリーディングや宿題と毎回のディスカッションが求められます。そのため最初は予習として教科書を読み込んでおかないと授業について行けないと思います。ディスカッションも予習している事が前提で議論するので頭に入れておく必要があります。私は人気すぎて登録出来なかったのですが、Coffee Making や Wine Making等化学的にコーヒーやワインを実際に作りそれが授業評価になるという授業は面白そうでした。
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
一学期あたり3つの授業で12、13単位あり、それが3 quarterあります。毎週課題やプロジェクト、エッセー、中間試験が何かしらあるため週に最低でも授業以外で20時間は勉強していたと思います。
④学習・研究面でのアドバイス
とにかく毎日授業においてかれないように分からない所はTAやクラスメイトにどんどん聞くべきです。友達とStudy Groupを作ると合間に喋ったり一緒に帰ったり出来るのでお勧めします。授業外の大学や他大学のイベントやリサーチに参加すると更に新しい世界に触れられて楽しいと思います。
⑤語学面での苦労・アドバイス等
高校までの帰国子女でも無い限り皆ある程度苦労すると思います。とにかく恥ずかしがらず現地学生や留学生と喋る事が大切です。日本人留学生は往々にして自分の殻に閉じ込もってしまったり、受け身のコミュニケーションしかとれない事が多いですが、なるべく日本人ではなく自分より英語の上手い現地学生や留学生と毎日喋ると少しずつ伸びて来ると思います。あとはボキャブラリーを増やし続ければ表現の幅が広がるはずですよ。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
寮はFreshmanのみしか入れないため、最初はホームステイをしその後Facebookを通してルームメイトを探しているアパートに移りました。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
日本より寒暖差が少なくドライで住みやすいです。自転車やバスを使えば市内どこでもいけます。食事はアジアマーケットやスーパーがあるためそこで買い物すれば問題ないです。お金は現地で口座を開設して両親に何回かに分けてwire transferして貰いました。デビットカードとクレジットカードを作れば問題ないです。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
とても安全ですが、旅行に行く時等は十分注意しましょう。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
家賃\$525 + 食費\$750 = \$1275
・留学に要した費用総額とその内訳
航空賃\$3000 + 授業料\$6700 +教科書代\$500 + 家賃\$6300 + 生活費\$6000 = \$22500

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
大学経由でJASSO奨学金を毎月8万円支給されていました。
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
テニスクラブに入り大会に出場しベスト8の成績を収め、他にも日米学生交流団体やカトリック系学生団体、統計クラブで活動しました。プログラム終了後は一ヶ月リサーチインターンを行いました。週末は勉強かSF等近場に旅行に行っていました。長期休暇は少し離れたLAやMiamiに足を運んだりもしました。
派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
スタッフが常駐していて困った時は何でも助けてくれます。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
図書館は24時間利用でき、大きなジムで無料で運動出来ます。食堂も充実していて食事には困りません。
留学と就職活動について
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
アメリカで働く、あるいはアメリカの大学院に進学するという事が非常に魅力的な選択肢になりました。現地の学生を見ていると、より自分の心に素直な就活をしているように思えました。
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
準備が出来ているのならボスカリに行っても良いと思いますが、それ以上に英語での研究を通して日本では考えも及ばなかった世界での可能性を模索して没入してみる事が大事だと思います。
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:) ()4.非営利団体(団体名又は分野:) ()5.民間企業(企業名又は業界:) ()6.起業(分野:) ()7.その他()
留学を振り返って
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
英語力だけでなく人間的に大きく成長出来たと思います。以前よりオープンマインドになり、堂々と自分の意見を主張出来るようになりました。またカリフォルニアは様々な人種に溢れている為、右に倣えな日本と違い、「自分とは違う」見た目、性格、価値観、ジェンダー等に寛容な空気があり、非常に心地よかったです。

②留学後の予定
就活をしながらアメリカ大学院進学の道も模索したいと思います。
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
一年休学してでも行く価値はあります。自分の心の声を聞いて、最後は直感です。一歩踏み出して留学し、留学先でも新しい事にどんどん挑戦し自分の殻を破っていけば本当に自分がガラッと変わると思います。
その他
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物
②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。